

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024年6月18日

大分県知事殿



提出者 大分市舞鶴町1丁目3番18号  
住所 梅林建設株式会社  
氏名 代表取締役社長 梅林 勝也

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 097-534-4151 (内線)300

(担当部署) 安全品質環境部

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

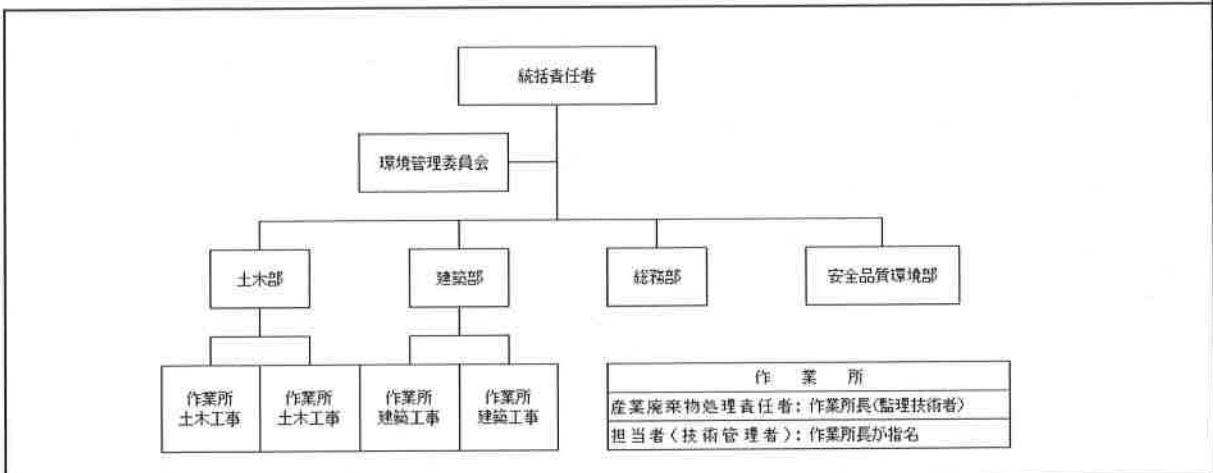
事業場の名称	梅林建設株式会社
事業場の所在地	大分市舞鶴町1-3-18
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	D06 総合工事業
②事業の規模	完成工事額：106億円【2022年度】(本社)
③従業員数	204名(2024年4月1日時点)(本社管轄)
④産業廃棄物の一連の処理工程	別紙の通り

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（2023年度）実績】	
産業廃棄物の種類	別紙の通り
排 出 量	4, 404. 431 t
(これまでに実施した取組)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計又は施工計画段階において、産廃の発生抑制を考慮した工法・資材等を採用している。</li> <li>・再使用できる梱包材の使用を求め、梱包ごみの発生を抑制している。</li> </ul>	
②計画	
【目標】	
産業廃棄物の種類	別紙の通り
排 出 量	2, 756. 510 t
(今後実施する予定の取組)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画段階から産廃の発生抑制を考慮に入る。</li> <li>・各業者には、資材過多等により産廃が計画以上に発生しないよう呼びかけていく。</li> </ul>	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・分別している産業廃棄物: 廃石膏ボード、金属くず、廃プラ 他</li> <li>・各会議にて、所長及び職員に産廃分別の教育を実施し、意識の底上げを図っている。</li> </ul>
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・現場での分別を環境目標とし、更に産廃業者の処分方法を事前に調べることで、適切なリサイクル方法をとる業者と契約することを徹底する。</li> </ul>

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度） 実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	_____ t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	_____ t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度） 実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	_____ t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	_____ t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら熱回収を行つ 産業廃棄物の量	_____ t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	_____ t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（ 年度） 実績】	
		産業廃棄物の種類	_____
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	_____ t t
①現状		(これまでに実施した取組)	
		【目標】	
		産業廃棄物の種類	_____
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	_____ t t
②計画		(今後実施する予定の取組)	

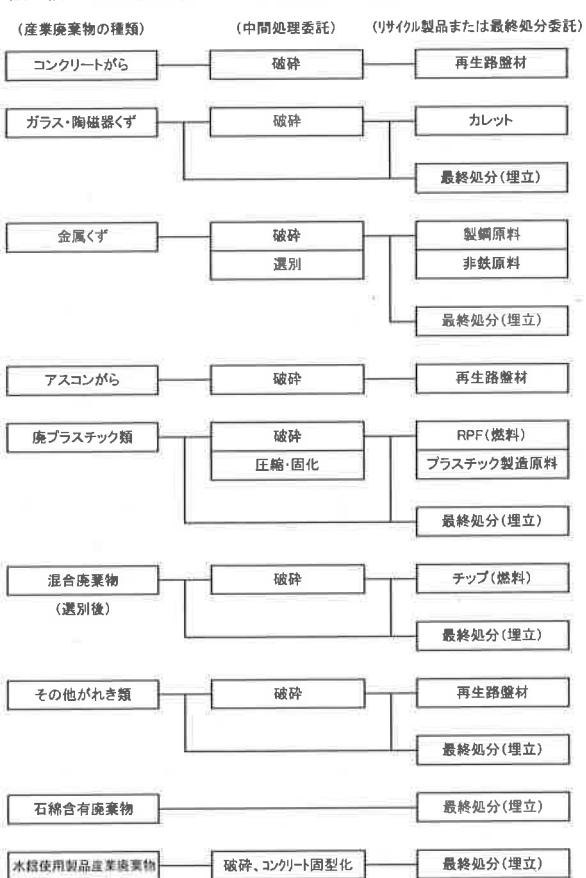
## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（2023年度） 実績】	
		産業廃棄物の種類	別紙の通り
		全処理委託量	4, 404. 431 t t
		優良認定処理業者への 処理委託量	0 t t
		再生利用業者への 処理委託量	4, 357. 785 t t
		認定熱回収業者への 処理委託量	0 t t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t t
①現状		(これまでに実施した取組)	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・処理内容を確認し、処理業者と適正な委託契約を締結する。</li> <li>・現在使用している電子マニフェストの普及、拡大を図る。</li> <li>・顧客指定が無い限り、極力電子マニフェスト導入業者を採用する。</li> <li>・電子委託契約を採用し、普及、拡大を図る。</li> </ul>	

【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
②計画	全処理委託量	2,756.510 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	2,744.510 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子マニフェストの普及、拡大を図る。</li> <li>・電子委託契約を積極的に採用し、普及、拡大を図る。</li> <li>・分別回収を行うことで、再生利用の拡大を図る。</li> </ul>			
※事務処理欄			

**別紙 産業廃棄物の一連の処理の工程**

No.1



No.2



上段:実績値 下段:目標値	排出量	自ら再生利用を行う量	自ら熱回収を行う量	自ら中間処理により減量する量	自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う量	全処理委託量	優良認定処理業者への委託量	再生利用業者への委託量	認定熱回収業者への委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量
コンクリートがら	3,548,360 2,000,000					3,548,360 2,000,000		3,548,360 2,000,000		
その他がれき類	29,036 20,000					29,036 20,000		12,950 15,000		
ガラス・陶磁器くず	18,530 15,000					18,530 15,000		2,630 10,000		
金属くず	137,422 100,000					137,422 100,000		136,552 100,000		
木くず	190,865 150,000					190,865 150,000		190,865 150,000		
アスコンがら	263,090 250,000					263,090 250,000		263,090 250,000		
廃プラスチック類	105,466 100,000					105,466 100,000		105,346 100,000		
混合廃棄物	81,682 50,000					81,682 50,000		81,262 48,000		
建設汚泥	2,580 50,000					2,580 50,000		2,580 50,000		
紙くず	0.450 1,000					0.450 1,000		0.450 1,000		
繊維くず	0.180 0,000					0.180 0,000		0.180 0,000		
廃石膏ボード	12,570 10,000					12,570 10,000		12,570 20,000		
石綿含有廃棄物	13,210 10,000					13,210 10,000		0,000 0,000		
廃石綿等	0,040 0,000					0,040 0,000		0,000 0,000		
水銀使用製品産業廃棄物	0,010 0,010					0,010 0,010		0,000 0,010		
廃油	0,940 0,500					0,940 0,500		0,940 0,500		
合計(実績)	4,404,431					4,404,431		4,357,775		
合計(来年目標)	2,756,510					2,756,510		2,744,510		